

# 職業奉仕委員会

委員長	角谷 浩二 (泉 南)
委員	丸山 信仁 (御 坊)
委員	杉本 昌史 (和 泉)
委員	近藤 徳雄 ( 堺 )

## 2007-08 年度活動計画

### (基本方針)

職業奉仕はロータリー活動の根幹をなす思想であります。これは1910年アーサー・フレデリック・シェルドンがシカゴで開催された第1回国際大会で提唱され、1916年シンシナティ国際大会から「職業部門」が始まりました。

現在社会奉仕や国際奉仕活動の実践こそが、ロータリー活動であると思っておられる方が多数おられます。例会に出席し、食事をし、卓話を聞くよりも、ボランティア活動を実践する方が、よほど人のためになると考えるロータリアンが増えてきております。クラブの例会を大切にしない風潮があります。

ロータリー活動は、有益な職業から選ばれた会員が毎週1回の例会に出席し、お互いが師となり、徒となり倫理を学び、自己研鑽し、奉仕の心をそれぞれの個人生活、職場、地域社会、国際社会で実践することにあります。

ロータリーは単なる寄付団体、単なる慈善団体、単なるボランティア団体ではないことを会員の皆様方に理解してもらうのが当委員会の基本的考え方です。

### (活動計画)

本年度は「滅びゆく職業奉仕（職業奉仕とは何か）」をメインテーマとさせていただきます。

- ① 各クラブが、どのような活動をされているのか？
- ② CLPにおいて、なぜ四大奉仕部門の一つである職業奉仕が奉仕プロジェクトの小委員会になっているのか？
- ③ ロータリアンの皆様がどこまで職業奉仕を理解しているのか？